

製品安全データシート (MSDS)

作成 : 平成 15 年 3 月 20 日  
最新改訂 : 平成 22 年 4 月 19 日

【1.製品名及び会社情報】

製品名 : Au (塊状)  
会社名 : フルウチ化学株式会社  
住所 : 東京都大田区大森北 2-7-12  
担当部門 : 東京都品川区南大井 6-17-17  
統括本部営業部  
電話番号 : 03-3762-8161  
FAX 番号 : 03-3766-8310  
緊急連絡先 : 同上  
推奨用途 : 電子部品材料、研究用途、工業用途。  
整理番号 : 100416-03S

【2.危険有害性の要約】

GHS 分類 分類対象外または分類できない

※粉末の場合は、可燃性固体となりますのでご注意ください。

注意書き :

< 予防策 >

- すべての安全注意 (MSDS 等) を読み理解するまで取り扱わないこと。
- 適切な個人用保護具を使用すること。

< 応急措置 >

- 暴露したとき又は気分が悪いときは、医師に連絡すること。

< 保管 >

- 施錠して保管すること。

< 廃棄 >

- 内容物/容器を、国/都道府県/市町村の規制に従って廃棄すること。

【3.組成、成分情報】

単一製品・混合物の区別 : 単一製品  
化学名又は一般名 : 金(Gold)  
別名 : -  
化学式 : Au  
濃度範囲 : 99.9%以上  
CAS 番号 : 7440-57-5  
官報公示整理番号 : -

# Furuuchi chemical MSDS

No: 100419-03S Gold 平成 22 年 4 月 19 日

## 【4.応急措置】

- ・ 以下のいずれの場合も直ちに医療機関に連絡し、医師または医療機関に適切な指示を求めるとともに速やかに医師の診断を受けられるように手配する。

飲み込んだ場合：

- ・ 意識があることを確認し、口をすすぎ、うがいをさせる。

吸入した場合：

- ・ 被災者を清浄な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。

皮膚に付着した場合：

- ・ 多量の水と石鹸で、皮膚を速やかに洗浄する。
- ・ 皮膚刺激または発疹が生じた場合には、医師の診断を受けること。

目に入った場合：

- ・ 直ちに瞼を開き多量の流水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続ける。洗浄は眼球・瞼の裏、その他目の細部に至るまで完全に洗浄する。
- ・ 洗浄は少なくとも 20 分間は行う
- ・ 処置の最中から医療機関での処置に至るまで、被災者に付添人をつける。

その他：

- ・ 暴露の影響は遅れて出ることがある。
- ・ 医師、医療関係者に暴露の状況を伝えるとともに、2次災害を防ぐための注意を通知する。

---

## 【5.火災時の措置】

消火剤：

- ・ 水噴霧、泡消化剤、粉末消化剤、炭酸ガス。

使ってはならない消化剤：

- ・ 棒状放水

特有の危険有害性：

- ・ 加熱によって有害なガスを発生するおそれがある。
- ・ 粉末（可燃性固体）は空气中で発火、爆発するおそれがある。

消火方法：

- ・ 危険がなければ火災区域から容器を移動する。
- ・ 火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。

消火を行う者の保護：

- ・ 消火は周囲の安全を確保し、適切な呼吸装置、防護衣などを着用して行う。

---

## 【6.漏出時の措置】

人体に対する注意事項：

- ・ 作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
- ・ 適切な保護具を着用するまで、破損した容器、漏出した本品に接触してはならない。
- ・ 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離し、関係者以外の立ち入りを禁止する。

環境に対する注意事項：

# Furuuchi chemical MSDS

No: 100419-03S Gold 平成 22 年 4 月 19 日

- ・ 環境への放出を避けること。
- ・ 漏洩物が河川、水路へ流出または地下へ浸透することを防ぐ

## 回収・中和：

- ・ 漏洩物を掃き集めて密閉できる空容器に回収し、後で廃棄処理する。
- ・ 粉末は可燃性固体となりますので、火気に注意してください。

## 封じ込め及び浄化方法・機材：

- ・ 水で湿らせ、空気中のダストを減らし分散を防ぐ。

## 二次災害の防止：

- ・ プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぐ。

---

## 【7.取扱い及び保管上の注意】

### 取扱い

#### 技術的対策：

- ・ 「8.暴露防止及び保護措置」の記載事項を参照のこと。
- ・ 皮膚や眼、衣服等に付着しないように、保護具、保護設備を使用する。

#### 局所排気／全体換気：

- ・ 「8.暴露防止及び保護措置」の記載事項を参照のこと。

#### 安全取扱注意事項：

- ・ 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・ 作業場所では換気を十分に行う。

#### 接触回避：

- ・ 「10.安定性及び反応性」を参照。

### 保管

#### 適切な保管条件：

- ・ 密閉して保管。

#### 混触危険物質：

- ・ 「10.安定性及び反応性」を参照。

---

## 【8.暴露防止及び人に対する保護措置】

### 設備対策：

- ・ この物質を貯蔵ないし取り扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
- ・ 換気装置を使用する。

### 暴露限界値

管理濃度：	労働安全衛生法	データなし
許容濃度：	日本産業衛生学会	データなし

### 保護具：

- ・ 呼吸用保護具： 適切な呼吸保護部を着用すること。
- ・ 保護メガネ： 適切な保護メガネ、顔面保護具。
- ・ 保護手袋： 適切な保護手袋の着用。
- ・ 保護長靴： 適切な保護具の着用。
- ・ 保護衣： 適正な保護具を着用すること。

# Furuuchi chemical MSDS

No: 100419-03S Gold 平成 22 年 4 月 19 日

## 【9.物理的及び化学的性質】

外 観： 黄色の光沢のある金属（塊状）  
融点： 1063℃  
沸点： 2970℃  
比 重： 19.3 (20℃) 、17 (1063℃ 液体)  
溶解度： 水に不溶、王水に溶ける。

## 【10.安全性及び反応性】

安全性／反応性： 空気、水には高温でも作用しない。  
混触危険物質： NH<sub>3</sub>、(NH<sub>4</sub>OH、濃アンモニア水)、H<sub>2</sub>O<sub>2</sub> と爆発性の化合物を形成する。濃アンモニア水、発生期のハロゲンを発する塩化物、臭化物、ヨウ化物を含んだ混合物および多くの酸化剤、特にハロゲンを含んだ酸化剤と混合してはいけない。

その他：

酸素、イオウとは高温でも反応しないが、塩素、臭素とは直接結合する。耐酸、耐アルカリ性が非常に大きく、セレン酸以外の酸素酸には溶けないが、王水には溶けて塩化金（Ⅲ）酸となり、酸素の共存下シアン化アルカリの水溶液にはジシアノ金（Ⅰ）錯塩をつくって溶解する。

## 【11.有害性情報】

急性毒性： データなし。  
皮膚腐食性／刺激性： データなし。  
眼に対する重篤な損傷／刺激性： データなし。  
生殖細胞変異原性： データなし。  
呼吸器または皮膚感作性： データなし。  
発ガン性： データなし。  
生殖毒性： データなし。  
特性標的臓器／  
全身毒性(単回暴露)： データなし。  
特定標的臓器／  
全身毒性(反復暴露)： データなし。  
吸引力呼吸器有害性： データなし。

注意： 使用者は未知の有害性を常に存在するものとして十分な注意を払う必要がある。

## 【12.環境影響情報】

水生環境有害性(急性)： データなし。  
水生環境有害性(慢性)： データなし。

## 【13.廃棄上の注意】

残余廃棄物： 有価金属再利用のため回収し、リサイクル業者に委託する。  
リサイクル不可の場合、産業廃棄物として規則に従って廃棄すること。

容器： 付着物がある場合、有価金属再利用のため回収し、リサイクル業者に委託する。

# Furuuchi chemical MSDS

No: 100419-03S Gold 平成 22 年 4 月 19 日

容器は清浄してリサイクルするか、規則に従って廃棄すること。

## 【14.輸送上の注意】

- ・ 安全対策：重量物を上積みしない。  
輸送に際しては、直射日光を避け容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
  - ・ 国連分類：該当しない
  - ・ 国連番号：該当しない
- \* 粉末の場合、可燃性固体となり輸送上の注意が異なる可能性もありますのでご注意ください。

## 【15.適用法令】

労働安全衛生法： 該当しない  
化学物質管理促進法（PRTR 法）： 該当しない  
毒物及び劇物取締法： 該当しない

\* 粉末の場合、適用法令が異なる可能性がありますのでご注意ください。

## 【16.その他の情報】

- ・ 記載のデータや評価に関しては必ずしも十分ではありません。全ての化学製品には未知の危険有害性が有るため、取扱いには細心の注意が必要です。
- ・ ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定ください。また特別な取扱いをする場合には、新たに用途、用法に適した安全対策を実施の上でご使用ください。
- ・ 本データシートそのものは安全な取扱いを確保するための参考情報として提供されるものであり、安全の保証書ではありません。

### 参考文献

- ・ (独) 製品評価技術基盤機構 (NITE)
- ・ 理化学事典 第4版 岩波書店
- ・ 化学物質安全性データブック OHM 社
- ・ 化学品安全管理データブック 長瀬産業(株)
- ・ 日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告
- ・ ACGIH
- ・ ERG2008

## 【改訂履歴】

平成 15 年 03 月 20 日	第 1 版	整理番号 030320-20Ta	全般改訂
平成 17 年 02 月 23 日	第 2 版	整理番号 050223-01Ha	情報の追加・訂正
平成 22 年 04 月 19 日	第 3 版	整理番号 100419-03S	GHS 版に改訂